

「市民目線で議論を」

議会改革で目黒氏指摘



目黒章三郎氏

会は当局と車の両輪になっ
てはいけない。議員は与野
党関係なく、市民の多様な
意見を吸い上げて議論し、
問題解決に当たるべきだ」
と訴えた。

【宮野湾】沖縄国際大学
総合研究機構沖繩法政研究
所の公開シンポジウム「議
会改革をめざして」が21
日、同大で開かれ、福島県
会津若松市議会の目黒章三
郎議長が基調講演した。2
008年に制定した議会基
本条例を踏まえ、市民との
意見交換会を元に議員同士
で議論し、政策提案する取
り組みについて報告。「議

同市議会の議会基本条例
は、政策形成に市民参加と
議員間討議、説明責任と議
決責任を義務付けている点
が特徴。目黒氏は「単なる
追認機関であったり、『与
党だから賛成』『野党だか
ら反対』の風潮を変える必
要があった。賛否の理由
を、市民に説明できる議員
でなければならぬ」と考え
た」と条例制定の狙いを説

明した。
市民との意見交換会で出
た要望を整理してテーマ設
定し、政策討論会を経て、
まとまって当局に政策提案
する仕組みを実践する同市
議会。「議員が与野党や会
派を超え、市民のために活

動している。説明責任を果
たそうとする気風も出てき
た」と強調した。
その後、県内市町村の4
議員が登壇し、シンポジウ
ムを開催。議会改革に向け
たそれぞれの現状と課題が
報告された。

議会改革必要性訴え

会津若松市議長が講演

沖国大シンポ

沖縄国際大沖繩法政研究
所の公開シンポジウム「議
会改革をめざして」が21
日、宮野湾市の同大で開か
れた。基調講演した福島県
会津若松市議会の目黒章三
郎議長は議会機能の現状に
ついて、行政から提案を受
けるだけの「受動的な議



目黒章三郎氏

会」と指
摘。賛否
に対する
議会意思
を示すこ
となく、

行政の提案を通すだけの
「追認機関が多い」と批判し
た。住民ニーズ、時代に即し
た議会を目指し、説明責任
を果たす住民に開かれた議
会改革が必要だと訴えた。
会津若松市議会は200

8年、市民への説明責任、
議員間の討議などを義務付
けた議会基本条例を制定。
議会改革の先進地として知
られている。

目黒氏は、同市議会では
年2回、市内15カ所で市議
による市民との意見交換会
を実施していることを紹
介。「行政の提案が本当に
市民生活に適しているのか
をチェックするため、市民
の意見を吸い上げて政策形
成に反映させ、議会の機能
を市民に実感させるために
も意見交換会が重要だ」と
述べ、議会が直接、住民の
意見を聞く場を設ける意義
を強調した。東京財団によ
る「神棚に飾るだけ」の議
会改革条例を見極める活動
を紹介する中で、「市民と

の意見交換や市政報告会を
条例で義務付けてないもの
は、本物の議会基本条例で
はない」と指摘した。